

### 第3回新火葬場基本計画検討委員会 議事録

- 1 日 時 平成29年5月31日(水) 午後1時00分～午後3時30分
- 2 場 所 葦山文化センター 葦山時代劇場映像ホール
- 3 出席者 委 員 寒竹 伸一 委員、武田 至 委員、八木 實 委員、長澤 登喜雄 委員、  
土屋 富夫 委員、幡本 均 委員、森西 廣志 委員、瀧本 順子 委員、  
中川 謙一 委員  
オブザーバー 浅野 正観オブザーバー  
大川 公オブザーバー  
(小笠原 秀明オブザーバー 欠席)  
傍 聴 5名  
事務局 萩原部長 天野課長、野田係長、小嶋副主幹、前田主査、  
神田専門官

#### 4 内 容

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議題
  - (1) これまでの検討の確認
  - (2) 関係団体等からの意見について
  - (3) 諸室の計画及び平面、配置計画について
4. その他
  - (1) 検討委員会による基本計画(案)の市への報告について
  - (2) パブリックコメントについて  
日程 平成29年6月5日(月)から21日(水)17時まで受付
5. 閉会

## 1. 開会

(事務局) 最終回であるが、小坂神社 大川公氏に新たにオブザーバーとしてご参加していただくことになった旨を説明。

(大川オブザーバー) (挨拶)

## 2. 委員長挨拶

## 3. 議題

### (1) これまでの検討の確認

(委員長) (1) これまでの検討の確認について事務局説明をお願いします。

(事務局) 資料3-1について説明

(委員長) 何か意見、質問はあるか。  
(意見なし)

それでは、本内容は確認されたということで、次に進みたいと思う。

### (2) 関係団体等からの意見について

(委員長) (2) 関係団体等からの意見について、事務局説明をお願いします。

(事務局) 資料3-2について説明  
(宗教関係者の意見はオブザーバーから意見をいただくものとして、  
葬祭業者からの意見のみ説明)

(委員長) 建設的な意見があり、基本計画(案)のまとめの参考にしてもらいたい。

(事務局) このあと議題(3)の中で、委員会からの意見、関係団体等からの意見を踏まえ、最終の事務局案を用意した。関係団体等の意見も踏まえた中で、検討をいただきたい。

(委員長) 率直な意見、感想でもかまわないが、何かあるか。

(委員) 式場について、人口に対して「飽和状態」とあるが、どういう意味か。

(事務局) 2035年に火葬件数のピーク時に想定される平均火葬件数が4件程度であり、すでにそれ以上の民間式場が設置されている。そうすると、今の時点では、業者の言い方でいけば「飽和状態」ということである。

(委員) 葬儀業者5社のうちほとんどが式場を造ってほしいとっていると思うが違うか。

(事務局) 式場を造ってくれとっているのは、5社中2社である。

(委員長) 業者としても、造られると仕事がへるという部分と、楽になるという部分があると思うので、微妙な表現になると思う。

(委員) 式場の設置でいうと、自社で会館を持っていないところは、自社で設備投資をせずに仕事ができるということで設置の要望になってくる。すでに設置しているところは、利用率が下がるということで、なるべく自分たちの施設を使ってほしいということがあるので、反対となる。そういったことも賛成反対に表れているのではないか。

(委員) 自分たちが事業をしている場合、何らかの形で事業を圧迫されたり、マイナス要素がでたりというのは、いかなるものかというのは当然の考え方である。そういったことを尊重すべきかと思う。

(委員長) 他に意見等あるか。

(意見等なし)

それでは、葬祭業者からの意見は確認したということで次に移る。

### (3) 諸室の計画及び平面、配置計画について

(委員長) それでは、議題(3) 諸室の計画及び平面、配置計画について、事務局説明よろしく願います。

(事務局) 資料3-3 目次～多目的室まで説明

(委員) 18頁、駐車場はマイクロバスではなく、バスになるということか。17頁の表もバスになるのか。バスが旋回できるようには計画されているか。

(事務局) 申し訳ありません。17頁の表をバスに修正する。旋回等考慮されている。

(オブザーバー) 関係団体等からの意見の中にもあるが、通夜の出来る式場を設置するかどうかということだが、資料中で事務局から回答いただいているとおり、コスト、時間的な制約もあるということで、できる範囲内で葬儀をできたらいいなと思うので、特に大がかりに葬儀の場所を設けなくてもよいのではないかと思う。

(委員長) 他に意見等はあるか。

(意見等なし)

それでは、ここまでの部分は了承されたということで次に進むものとする。

(事務局) 次の説明に入る前に、今議論していただいた、新火葬場の機能、特に式場の設置に関する事、それに関連する多目的室に関する事項については、事務局案のとおりご了承されたということで、解釈させていただきました。ありがとうございました。

引き続き説明をさせていただきます。

(事務局) 資料3-3 ①車寄せ・玄関部分～⑧控室について説明

(委員) 写真がたくさんあって、こういうイメージになるという誤解を与えないか。このイメージのとおりになるか。

(事務局) 車寄せについては、設計業者の提案によるところである。先程の意見の中では写真5は、石の質感になるかどうかはわからないが、富士山の側に対してこういった大きな開口を持ったものになると思う。また、多目的室は、この程度のことはできる部屋になると思う。質感も、語弊があるかもしれないが、会議室のような、特別な設えがない部屋である。

写真はないほうがよいか。

(委員) 勘違いするのではないかというだけである。

(事務局) 例示ということを明確にしたうえで、写真は載せさせていただく。

(委員) 写真は、希望する一番強調したものを載せたほうが良いと思う。そうすれば設計者の方が工夫して、何とかする可能性がある。最初から安っぽい写真を載せたら、たいした物をつくってこない。ちょっと風呂敷を広げたくらいでいい。例えば写真4であれば、これなら風や雨を防げる。では、この場所ではどういう工夫をするかということを考えてくれる。ある程度、こちらの考えを誘導できるようなものを選んだ方がよい。写真の選び方は少し気を付けたほうが良い。豊かな空間の写真を用意して、豊かな空間を提案してくれというメッセージを出した方がよい。

(委員) 写真でやるのもいいが、先に洋風、和風というイメージを決めたほうが良いのではないか。

(事務局) 後程説明させてもらおうと思っていたが、意見が出たので先に補足説明させていただく。

(事務局) 資料3-3 外観イメージについて説明

(委員長) 事務局でもいろいろな施設を見ていると思うが、平均的に洋風、和風という中では、どちらの方が多いか。

(事務局) 委員のほうが多いと思うが、和風らしい和風というものは少ない。近代的なものが多い印象ではある。

(委員) 和風で造ると、屋根が難しくなるという問題がある。中には和風に造ってきれいな屋根の施設もある。

今回の平面計画でいくと、和風の屋根を載せるのは難しい。また、バグフィルターを上を持っていくと、極端にそこだけが高くなり、12～15mになる。その他の部屋はあまり高さが要らないので、そのバランスをどうとるかということで設計者は苦勞している。

今回の計画では、炉室の部分だけ7mくらいで、集塵装置を地下にも

っていくので、今までにない横広がり非常にスムーズな、すっきりとした火葬場になるのではないかと思います。

前回あったとおり、高さを抑える中で、勾配屋根であると、高さが高くなる可能性がある。イメージとしては、北側全面富士山が見える角度になるので、その方がガラス張りで開放的になると思う。そういうことでは、和風というより洋風かと思う。炉室の部分だけはかっちりした建物があって、それ以外は薄い屋根があって、告別収骨、待合室等がフレキシブルに使えるイメージになると思う。

(委員)

たぶん、このパースを外国の人が見たら「和風」だと思う。外国の建物は基本的に壁で造っていく。日本の建物は、柱と梁と庇という、壁がなくてぺらぺらという感じ。和風といっても、お寺、書院造のような、木割がごついものから、数寄屋造りのような、柱がすごく細くて華奢なものもあって、和風といっても多様である。

そうすると、この建物の考え方は、和風的な空間を現代の技術で造り出すという、「現代の和風」という感じがする。眺望がいいということであると、書院では、柱があって、障子を外せば全部一望に景色が見られるというような空間を持っている。海外の建物は、地中海から発展してきたり、寒かったりということで、大きな壁で自然と区切ってしまって、石だからアーチを設けて、小さな窓、ピクチャーウインドウをつける。だから絵画も額に入っているわけだが、そういう窓が洋風である。

これは、屋根が平らなだけで、和風だと思う。屋根が平らにできるようになったことで、近代の建物はプランニングがすごく自由になった。屋根をかけていこうということになると、水処理が大変なことになる。

和風の初期のころの寝殿造りは天井がない。こんな複雑なプランニングにしたら屋根がぐしゃぐしゃになるが、その次の書院造というのは、天井を張った。屋根裏を見えないようにしたので、ぐしゃぐしゃであっても、平らになっている。書院造は天井を平らにしているが、屋根を平らにするほどの防水技術を当時持っていなかった。今はたまたま屋根を平らにできる防水技術があるので平らでいける。

これは和風ではないということではなく、逆に和風に見えるというプランニングだと思う。プログラムをちゃんと読み取って、ちゃんとした設計者がやったら和風になっていくのではないかと思います。

(委員長)

貴重な意見有難うございます。そういうことで、和風洋風にこだわらないでいいように思う。設計者はそれなりのものを造ってくれると思

う。

(委員) 和風洋風ということではなくて、前にも言ったが、「伊豆の国市らしい」ということに重きを置いたらいいと思う。具体的にいうと、この機会にこれだけのコストをかけて作るものが、伊豆の国とイコールにある程度なるのかということ。伊豆の国というと、温泉、歴史、世界遺産、願成就院の国宝とかそういったものがある。誰かがストーリーを描けて、そのストーリーの一つになるようなもの。ストーリー中に組み込めるような建物になればいいと思う。結果として洋風、和風関係なく。他の第3者に対して、これはこういうものをイメージしているという話をした場合、なるほどと思わせるというようなデザイン。伊豆の国をもう一度ぐるっと見てもらって、その中に入れるものということで考えると、いいものができるのではないかと思う。

(委員長) 他に意見等はあるか。  
(意見等なし)

(事務局) 一部修正等はするとして、内容についてはご了承していただいたということによろしいか。  
(異議なし)

(委員長) それでは、10分程度休憩とする。

(10分休憩)

それでは、時間となったので事務局説明をお願いする。

(事務局) 資料3-3 配置計画～⑨作業室・制御室・事務室～⑮その他まで説明

(委員) アプローチ空間を追加したということで、アプローチはどこか。アプローチは通常駐車場に停めてから、建物に入るまでというイメージだが、これでは車降りたらすぐに玄関である。

(事務局) 例えば、式場からバスに乗り合わせて、火葬場に行くというときに、側道から敷地、施設に入っていくときの雰囲気づくりという意味。側道

からぐっと曲がったときに、富士山が見えるというイメージである。

(委員)

公道から施設に曲がって入ってくるところから、アプローチが始まる。歩いてくるということプラス車で。一般的な空間、道というのはもう非日常的な空間。そこから、右折左折して敷地の中に入ったところからアプローチが続く。

スウェーデンの森の火葬場は、広い土地があつて、アプローチをきれいに持っていく距離があるが、ここはそんなに距離もない。平らなところも少ないということであれば、あるひとつの道路の性格から、ひとつぽんと違った空間を用意してあげると。長さで工夫は無理だから、そうするとシークエンス。曲がったら、視界が開けて富士山が見える。その奥に火葬場がありますと。その車寄せを回って、駐車場で降りて、駐車場では富士山が見えなくなる。一度富士山をかくしておいて、中に入ったら、富士山がぱっと見える。アプローチといっても、伊勢神宮みたいな神事的なアプローチ、東大寺みたいな軸線がおったアプローチもあるから、そちらをとるしかないのではないかと思う。その時に、例えば、できたらなるべく低いところから入れて距離をとって、アプローチするときには富士山が見えてきて、そこに 12 台の駐車場はないほうがいい。そこをきれいにデザインされていれば、そこから富士山を見ながら入ってくる。ここにいけないと 100 台取れないのかもしれないが、そこは工夫して、曲がってからのアプローチのところに車がないように。駅前にタクシーがたくさん待っていると景色が悪い。それと一緒になる。アプローチを造るのは難しいし、なるべくこちらでいいもの考えておいて、設計士にもう一度プロポーザルの時に提案してもらうというのがいいのではないか。

(委員)

私のアプローチのイメージは、駐車場で車から降りてから、慰霊碑をとおって入るというイメージ。そうすると慰霊碑もある、富士山もある、きれいだなと利点もあれば、雨の日に大変ということもある。そうした時は車寄せで人をおろして、運転手は歩くということで良いと思う。

どうして建物の位置を動かさないかということを知ると、建物から富士山が見えないといけないという思いが強すぎるのではないかと思う。でも、雨の日は見えない。晴れた日に見えればいいのであれば、外から見えたほうがいいのではないか。そういうこともあつて、慰霊碑をとおって、火葬場というイメージだった。

なぜ、建物から富士山が見えなくてはならないのか。



- (委員長) 　　他の火葬場にいても、ほとんど外に出ている人はいないというのも事実。車を降りると待合室等で待っている。この辺りは個人の見解ということもある。
- (委員) 　　慰霊碑のところからは富士山は見えないのか。
- (事務局) 　　慰霊碑の所からは見えるイメージでいる。
- (委員) 　　建物がもっと奥でもいいのではと思うのだが。
- (事務局) 　　委員長に造っていただいた模型を見てもらうとわかると思うが、あそこから先は急に落ち込んでいる。駐車場なり建物を建てるうえで、どうしてもある程度まとまった平らな土地が必要であり、できるだけ費用を抑えながら造成するというところで検討したものが、この造成計画であり、配置計画である。ご理解いただければと思う。
- (委員) 　　標高193のところの面積が小さいという意味か。建物を細長くするということは検討しなかったのか。
- (事務局) 　　富士山の眺望が素晴らしい場所であり、雨の日等見えないことはあっても、これを活かさない手はない。伊豆の国市らしいというストーリーを描くうえで、富士山が見えるということを前面に押し出したコンセプトで作上げたのが、この事務局案である。  
　　そこまで重視しなくてもいいというのも一つの考え方である。ただし、灰の埋立地には建物を載せないことは変わらない。また、造成費用をできるだけ少なくするというところで、事務局が考えた中では最良と考えている。
- (委員) 　　慰霊碑へのアクセスはどうするか。
- (事務局) 　　テラスから階段を下りて行く。
- (委員) 　　左側のユニットの方はどうするか。
- (事務局) 　　左側のユニットの場合でも、同じテラスを使うか、玄関からぐるっと

まわるか。この辺りは厳密に検討できていない。

(委員長) この庭園をどれだけの人が使うか。他の施設を見る中で、庭園があるから行こうという人がどの程度いるか。

(委員) (模型を見ながら)  
本来であれば、埋立地の部分を使えばよいがここは使えない。建物西側の森部分は、傾斜が急で使えない。ここの沢にも載せられない。となるとこの辺りになる。

(委員) 駐車場を下に持っていくことは。

(委員) 10m位段差ができるので、高齢者等歩くとなるとかなり大変。

(委員) ぐるっと回って、下のレベルから入れるとしたら、なんで上から入れるのに、下から入れるのかという話にもなる。

(委員長) 自分は模型を造っていて、こんなに段差があって本当に造れるのかと思った。最初は公園が下だったから。

(委員) 臨時駐車場はいらないのでは。

(事務局) 臨時をいれて100台である。通常上の段で86台で、現在の長岡斎場が35台なので、実際は上の駐車場だけで賄えると思う。

(委員) 進入口西側12台の駐車場はとったほうがいい。  
進入口東側の9台の駐車場は、両側から入れないともったいない。周りは木で隠す。そして、進入口西側の部分をきれいにする事で、入ってきたらイメージが変わる。晴れていれば富士山を眺めながらアプローチできるようになり最高である。進入口東側駐車場は、道路との段差を活かして閉じる。

(委員) アプローチ空間が良くなれば、イメージが変わってくると思う。

(事務局) そうすると、慰霊碑は手前に持ってきた方がよいか。

- (委員) その方がいい。慰霊碑にも来やすい。ここを公園にしたらいい。  
そうすると、ここに霊安室があるのは邪魔。今は建物の中だけで考えているが、アプローチと慰霊碑と、どういうところに公共スペースが来るかということ。調整池はいつもきれいに水が張ってあるわけではない。そのあたりもどうするか。  
曲がったところから車寄せをアプローチとしてきれいにすること。
- (委員長) 今、アプローチ空間等いろいろな意見が出たが、事務局には前向きに考えてもらいたい。
- (事務局) 多くの委員から意見をいただいたので、今日最終回ではあるが、修正させていただくということでみなさんの了承をいただいたということではよろしいか。
- (委員長) そのようにしていただきたい。  
引き続き事務局説明をお願いします。
- (事務局) 資料3-3 平面図について説明
- (委員) もう少し練ってもらいたいのは、玄関入ってすぐトイレである。キッズコーナー授乳室は一つにまとめたが、トイレは二つに分けなければいけないのか。
- (事務局) 今そういう考えではいる。
- (委員) 正面にトイレが来るようになってしまっている。視察に行ったときに入った途端にトイレの臭いがするところがあった。逆にトイレに風除室がほしいくらい。日本はトイレが一重ドア。それが嫌だということでオーストラリアは法規で2重ドアにしている。  
視察したときのものは、エントランスホールにトイレが接していて、そこから臭いがしてそれが第一印象であった。そういうことは避けるべきである。  
それから、霊安室の位置もすごい位置に持ってきていると思う。  
トイレと霊安室の位置をもう少し工夫してもらえると、いままでの素敵なストーリーが完結していくような気がする。

- (事務局) 検討、修正させていただく。
- (委員) (平面図上で検討)  
風除室の左側にキッズスペース等を持ってくる。  
霊安室は移せないか。メインアプローチにサービス動線が絡むのはよくない。  
事務室の位置が、しかたなく炉室に入ってしまったように見える。この施設で大切なのは事務室ではなく、炉室なので、何を大切にするかということを考える。  
給湯室、トイレの位置を検討する。  
空間をシンプルにしようといっているのにシンプルになっていない。柱割もきれいに同じスパンで割ってしまう。そうしてミース的にプランニングする。ミースは柱割とは関係なくやっていくのが現代的な空間方式だとした。これは、柱に縛られてしまって空間が自由になっていない。  
もっとシンプルに。そして、裏動線、空間をどう処理するか。トイレは1カ所にすればコストも安くなる。
- (事務局) わかりました。
- (委員長) 委員から、貴重なアドバイスがあったので、検討していただきたい。
- (委員) アプローチが決まったので、慰霊碑は手前に持ってくると。富士山もよく見える。
- (事務局) 今いただいた意見をもとに修正させていただくということでよろしいか。
- (委員長) 意見を踏まえて、もう一度検討していただければと思う。  
引き続き事務局からお願いします。
- (事務局) 資料3-3 断面、パース、第6章まとめについて説明
- (委員) 断面図の表記をもっとわかりやすくする。土の部分に色をつけるとわかりやすくなる。箇所によって表記の仕方が違うので、梁等構造がわからないのであれば、すべてシングルラインでの表記に修正する。断面を切る場所をわかりやすく示す。

- (委員) 12台のところの駐車場を減らすということだったが、駐車場を立体で造るということはできないのか。
- (事務局) 平面駐車を考えている。駐車場の計画は再度検討させていただくが、慰霊碑のあるところを駐車場に復活させれば、台数は確保できると思われる。
- その他、全体を通じて意見があればいただきたい。
- (オブザーバー) 慰霊碑は、モニュメントというイメージか。
- (事務局) 特定の宗教によるものではないが、場合によっては、手を合わせるといってもできるものをイメージしている。モニュメントのようなものをイメージしていただきたい。
- (オブザーバー) 身寄りのない方の御遺骨を納めるような施設はつくるのか。
- (事務局) そういったものは設けない。
- (委員) ペットの受け付けは、電話予約してからいくことになるか。
- (事務局) 今後、検討させていただくが、利用者様の手間をできるだけかけさせないような方法を考えたい。  
基本的にはそのまま持っていけるような方法がいいということで受け止めさせていただいてよろしいか。
- (委員) 以前他のところで、電話をしたら、今日は受け付けられないといわれたことがある。受付の時間もあると思うが。
- (事務局) 受付時間は、基本的に火葬場が開館している間ということになると思う。
- (委員長) 運営については、これから検討を行うと思うが、視察先でも3日に一度程度、火葬件数がある程度まとまった段階で火葬するということだっ

たので、受付件数が多すぎると、お預かりできないということもあるのかもしれない。

(オブザーバー) 神道では火葬場で火葬する際に、祭壇を設置して火葬場祭を執り行うが、仏教等でも使える一般的な台は設置されるのか。遺影とかお供えを置いたりすることができるようなもの。

(事務局) 葬儀等に使えるような大きな祭壇は設置をしないが、遺影を置くような台については、特定の宗教によらないようなものを設置させていただく。

(委員) 建築材料として、木材だけではなく、伊豆の国市らしい材料というものは他にうたわなくてよいか。  
伊豆の国市らしいということで、特徴のある材料が有れば言っておいた方が良いのでは。  
耐火レンガはどこで焼いたものなのか。

(事務局) 伊豆石、六方石等の石材は昔から使われているものがあるので、検討させていただく。

(オブザーバー) 反射炉炉体の耐火レンガは河津町の梨本で焼いたもの。煙突の方は、韮山の山田山の土を持ってきて、反射炉の入口の窯で焼いた。

(委員) そういうものも使えると思う。まさに炉である。  
そういうものが見えてくるといいと思う。土と木と石。

(事務局) 文章中にも、木材に加えて書かせていただく。

(委員長) 長い審議有難うございました。  
事務局にお返しする。

#### 4. その他

(1) 検討委員会による基本計画(案)の市への報告について

(2) パブリックコメントについて

日程 平成29年6月5日(月) から21日(水) 17時まで受付

5. 閉会

以上